

第122回 病態生化学セミナー

日時：平成30年6月20日（水曜日）午後6時00分～

場所：医学部講義棟1階 国際交流ラウンジ

演題：ヘテロクロマチンに由来するエピジェネティック変動発生のメカニズム
Mechanism for epigenetic variegation based on heterochromatin

演者：村上 洋太 先生

北海道大学 理学研究院 教授

ヘテロクロマチンは遺伝情報発現の抑制を通して細胞分化にかかわる重要な高次クロマチン構造である。一度形成されたヘテロクロマチンは自律的に維持され、周囲に拡張する性質がある。そのため、その異所的形成を防ぎ、誤って形成されたヘテロクロマチンを除去する必要がある。分裂酵母のJmjCドメインタンパク質Epe1はヘテロクロマチン除去に機能することが知られていたが、我々はEpe1が除去とは別に積極的に異所的ヘテロクロマチン形成を抑制する事を見出した。さらに、Epe1の抑制・除去機能は完璧ではなく、異所的ヘテロクロマチン形成を低い確率ではあるが許容し、個々の細胞間のヘテロクロマチンのパターンのバリエーションを生み出すことを発見した。これはエピジェネティックな細胞の環境変化適応機構やがん細胞における抗がん剤耐性を生み出すエピジェネティックなバリエーションの理解につながる重要な発見である。

【村上 洋太】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp

博士課程選択必修科目：基礎医科学(D3)、

博士課程選択科目：細胞生物学I(D6)、老化Ⅱ(D20)、発生生物学Ⅰ(D15)、
発癌Ⅰ(D22)、腫瘍生物学Ⅰ(D24)、Ⅱ(D25)、Ⅲ(D26)、臨床腫瘍学Ⅰ(D28)、
Ⅱ(D29)、Ⅲ(D30)、Ⅳ(D31)、Ⅴ(D32)、Ⅵ(D33)、地域がん治療学(D37-1)、
口腔腫瘍学(D37-2)、薬物動態学Ⅰ(D70)、腫瘍免疫学Ⅰ(D79)、
理工医学のための生物材料学(D103)

医科学専攻(修士課程)選択科目：

腫瘍の発生・増殖とその制御(M23)、理工医学のための生物材料学の基礎(M33)
を履修している学生は、できる限りこのセミナーに出席してください。